

平成20年度 事業評価書

地 域 名	北海道士幌町	選定年度	H19年度	事業規模	大規模
まちづくり協議会名	YU～YU・ゆきんこ協議会				
モデル事業名	ゆきんこ冷房システムプロジェクト				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H19年度	普及啓発事業として、交付金事業として実施する「ゆきんこ冷房システム」啓発セミナーの開催と、コンテナへの雪氷詰めを地域住民、児童と実施する「ゆきんこフェスティバル」を実施したほか、市民への広報活動としてチラシ、ポスター、リフレット、DVDを作成。
	事業終了後	H20年度	事業期間終了のため、事業は実施していない。
交付金事業	事業期間	H19年度	交付金事業として、雪氷を貯蔵し、夏場の冷房エネルギー源として資源化するスノーシェルターを中士幌児童ステーションに整備。また、冷房システムの稼動用として太陽光発電設備を整備。冬場の暖房代替エネルギーとして、ふるさと子育て伝承館に薪ストーブを整備。
	事業終了後	H20年度	事業期間終了のため、事業は実施していない。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	雪という地域資源を活用している点で、北海道等降雪地帯において幅広く応用可能であり、モデル性がある。特に大規模農業地域においては、農産物保冷庫などへの応用や、高度断熱技術などの幅広い技術の波及が見込まれる。さらに雪氷という地産の自然エネルギーを通じ、地域に根ざした、特色ある環境教育教材としても活用できる。	
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考
	目 標 値	155.3 H19年度事業分
	実 績 値	150.5 H19年度整備施設のH19年度稼働実績 <small>(目標値・実績値単位:t-CO2/年)</small>
	今年度は晴天が少なかったため、冷房稼動用の太陽光発電設備の実績が目標を下回ったものの、他の事業においてはほぼ目標どおりの二酸化炭素削減効果を得ることができている。	
③経済活性化効果	前年度に引続き、光熱費削減、売電等による直接的な経済効果を得ることが出来ている。また、冷房システムに関しては、全道各地で雪氷を利用した農産物保冷庫及び冷房システムが建設される等、波及効果も見られる。	
④その他		